



2026/27 シーズン インフルエンザワクチン案内

フルミスト® 経鼻生ワクチン・不活化ワクチン



2 か月先まで予約が可能になりました



予約開始日は 9 月 10 日（木）を予定



接種開始日は 10 月 1 日（木）を予定



保護者の方も予約が可能です



初診の方も予約ができます



フルミストの対象は 2 歳以上 19 歳未満です

はじめに

2026-2027 シーズンのインフルエンザ流行に備え、当院では予防接種を実施いたします。

インフルエンザの感染や重症化を防ぐためには、ワクチン接種が最も有効な手段の一つです。



保護の意味

ワクチン接種は、特に小さなお子様や基礎疾患をお持ちの方にとって、重症化を防ぐ上で非常に重要です。



家族の健康

一人ひとりの接種は、ご家族全体の健康保護につながります。
ご両親もぜひ接種をご検討ください。



当院の接種体制の概要

今シーズンは、皆様の多様なニーズにお応えするため、接種体制を一部変更いたしました。
主な変更点には、**予約期間の延長（2か月先まで）**、**予約開始日の前倒し**、などが含まれます。



本案内をご一読いただき、ご自身やご家族に合ったワクチンをご検討ください、当院スタッフ一同、全力でサポートしてまいります。



昨シーズンは流行の波が例年より早く、10月中旬に警報レベルとなり 11月中旬にピーク（第1波）、1月末～2月（第2波）という二峰性の流行になりました。

A型は H3N2（A香港）がメインの流行株でした。後半にかけて B型が流行しました。

以前よりも季節性が少し薄れて、夏季や秋季でもインフルエンザの局所的流行がみられるようになりました。

フルミスト®の詳細

フルミスト®は、注射器を使わずに鼻の粘膜に直接スプレーして免疫をつける、新しいタイプのインフルエンザワクチンです。以下に、当院における具体的な情報をお伝えします。

対象年齢



2歳以上19歳未満のお子様を対象です。
この年齢層は、鼻腔内へのスプレー接種が安全かつ効果的であることが示されています。

接種回数



1回のみです。年齢によらず、1回の接種で効果的な免疫を獲得できます。
他のワクチンとの接種間隔にご注意ください。

料金



1回あたり9,000円（税込）です。通常の不活化ワクチンよりも若干の料金が発生しますが、注射の痛みが苦手なお子様にとっては、負担の少ない選択肢です。

定員



400名程度対応可能となります。当院では先着順で受付をします。
フルミストについては10月と11月でほぼすべての予約枠を開放する予定です。



ポイント：フルミスト®は生ワクチンであるため、接種にあたりいくつか注意点がございます。
安全に接種いただくために、以下の内容を必ずご確認ください。

生ワクチンは、体内でウイルスを一時的に増やし「内側から免疫をつける」イメージです。
あえて弱く感染させるため、接種時には体調が万全であることが望めます。
接種後、鼻咽頭から約5-7日にわたってウイルス排泄がありますが、通常他者への感染性はほぼないとされています。
ただし、ご家族に免疫不全の方（抗がん剤治療中など）がいる場合は避けられた方が良いでしょう。

フルミスト® 接種の注意点

フルミスト® は生ワクチンであるため、接種にあたりいくつか注意点がございます。
安全に接種いただくために、以下の内容を必ずご確認ください。

単独接種のお願い

当院では安全性を最優先し、フルミスト® は他のワクチンと同時に接種することはできません。

- ✓ フルミストの副反応を考慮して、当院では今年度は同時接種は行わず、単独接種のみとさせていただくこととしました。
- ✓ スケジュールの立て方は、各ワクチンの特性を考慮に入れたものです。
- i 喘息コントロールが不安定な方はフルミストよりも不活化ワクチンを推奨します。※ 米国のガイドラインでは、2-4 歳の喘息児・喘息既往児には経鼻ワクチンは推奨していません。

接種間隔の注意（当院ルール）

-  生ワクチンとの接種間隔
4 週間以上 推奨します（例：MR、水痘、おたふくなど）
-  不活化ワクチンとの接種間隔
2 週間以上推奨します（決まりはありません）
- i 接種間隔の理由
実は**日本では、フルミストと他のワクチンの接種間隔は規定されていません**。米国では、厳密に生ワクチンとは 4 週間以上あけることが規定されているため、当院ではそれになります。

 接種スケジュールについてのご質問や、他のワクチンとの接種順序の相談が必要な場合は、お気軽に医師にご相談ください。

 副反応として、鼻汁鼻閉（約 60%）、咳（約 20%）、咽頭痛（約 20-30%）、発熱（約 10%）、頭痛（約 10%）がみられます。

不活化ワクチンの接種について

当院では、従来から実施している注射による不活化ワクチンも引き続き接種いただけます。
今シーズンも、ご家族での感染対策をサポートいたします。

対象年齢	1 回接種量	接種回数	接種間隔	料金（1 回あたり・税込）	合計料金（税込）
生後 6 か月以上 3 歳未満	0.25mL	2 回	2 週間以上	3,500 円	7,000 円
3 歳以上 13 歳未満	0.5mL	2 回	2 週間以上	4,000 円	8,000 円
13 歳以上	0.5mL	1 回	-	4,000 円	4,000 円



注意点

13 歳未満の方は、十分な免疫を獲得するために原則 2 回接種を推奨しております。ただし、1 回目接種後 2 週間以内に接種すると、十分な免疫効果が期待できない可能性があります。



効果と安全性

不活化ワクチンは、長年の使用実績があり、安全性が高いです。ただし、注射による痛みや腫れが起こることがあります。また、免疫系の反応には個人の差異があります。



当院では、患者様一人ひとりの状況に合わせて、最適なワクチンをご提案させていただきます。詳しくは、お子様の受診時に医師にご相談ください。



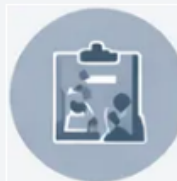
年齢による料金の違いがありますので、ご予約前に接種する方の年齢と料金をご確認願います。



保護者の方への接種について

今年度も引き続き、お子さんのご両親も不活化インフルエンザワクチンの接種が可能です。

お子様の感染予防はもちろん、ご家族皆様の健康を守るためにも、この機会にぜひ接種をご検討ください。



対象と料金

対象：当院診察券お持ちのお子様のご両親

料金：1回 4,000 円（税込）

接種回数：1回



接種の利点

お子様の感染予防のサポート

ご家族単位での感染対策

お子さんと一緒でも親御さん単独でも接種ができます



予約について

ネット予約のみです（はじめての方もネット予約をご利用いただけます）。電話や窓口での予約は受け付けておりません。

2か月先までご予約可能です。日時が表示されない場合は、予約が規定数に達しています。

0時に日付が変わった時点で2か月先までの予約枠が開放されていきます。

予約時間での接種となります。お子さまと別日の予約の場合、在庫管理の都合上、後からお子さまと日程を合わせることはできません。同一日でも午前～午後など昼をまたいで合わせることはできません。ご了承お願いいたします。



初診患者さんの接種について

19歳未満のお子様は、当院を初めて受診される方でもインフルエンザワクチンの接種が可能です。
かかりつけの患者さん以外もお気軽にご予約ください。



対象年齢

19歳未満のすべてのお子様
当院診察券をお持ちのお子様のご両親



予約方法

ネット予約のみとなります（はじめての方もネット予約をご利用いただけます）。電話・窓口予約不可です。



この方針の利点

- ✓ 皆様が健やかに冬を過ごせますよう、スタッフ一同全力でサポート
- ✓ 初診患者さんも安心してワクチン接種を受けることができます
- ✓ 家族全体の健康保護につながります
- ✓ 医療機関としての社会責任の実践です



接種に関するご不安な点や疑問点がございましたら、些細なことでも遠慮なく医師にご相談ください。
患者様一人ひとりの状況に合わせて、最適なワクチンをご提案させていただきます。

ワクチン選択のポイント

2歳以上19歳未満の方は経鼻生ワクチン（フルミスト®）と従来の不活化ワクチンの2種類からお選びいただけます。
上記以外の方は不活化ワクチンとなります。それぞれのワクチンの特徴を以下に示します。



経鼻生ワクチン（フルミスト®）

- ✓ 注射の痛みがありません
- ✓ 鼻にスプレーするタイプのワクチンです
- ✓ 対象：2歳以上19歳未満
- ✓ 接種回数：1回（**効果持続約1年**）
- ⚠ 当院では単独接種 副反応で軽い感冒症状が起きることがある



不活化ワクチン

- ✓ 長年の使用実績があり安全性が高い
- ✓ 皮下に注射するタイプのワクチンです
- ✓ 対象：生後6か月以上（ご両親も含む）
- ✓ 年齢により1回または2回の接種（**効果持続約5か月**）
- ⚠ 注射による痛みや腫れが起こることがある

💡 選択時の考慮点



お子さまの年齢と健康状態



予約可能日程の確認



お子様の安全性への配慮



家族全体の健康状況

ご不明な点がございましたら、診察時に医師にご相談ください。患者様一人ひとりの状況に合わせて、最適なワクチンをご提案させていただきます。



2026/27 シーズン インフルエンザワクチン案内



くまの子キッズ
アレルギークリニック



「フルミスト」接種を検討しているご家族へ

日本では2歳～19歳未満のお子さんに適応があります（米国では50歳未満の方が接種ができます）。



どのくらい効くの？

56.7%

ワクチン有効率

2024/25 シーズン・日本国内の速報

ワクチンを受けていないお子さんに比べて、
インフルエンザにかかりにくかった、という結果です



ただし、まだ「速報」です

初年度データのため症例数がまだ少なく、有効性は25.7～74.8%と幅があります。最終的な結果は2026年中に公開される予定です。

注射とどちらが効くかを比べたデータはまだありません。

どちらを選んでも大丈夫です。



よくある副反応

鼻の粘膜でワクチンがはたらいているサインです。
多くは数日でおさまります。



2,365人の調査でも、重い副反応は2人だけ。
どちらも治っています。



こんなときは相談を

喘息の調子が良くないとき
(2週間以内に喘鳴を指摘)

免疫の弱いご家族・赤ちゃん
がいるとき

接種の前後に抗インフルエンザ薬
を使うとき



フルミスト（経鼻インフルエンザ生ワクチン）と抗インフルエンザ薬の間隔ガイド

経鼻生ワクチンを上手に効かせるために 一保護者の皆さまへ

薬剤別の必要な間隔一覧

薬剤	接種前	接種後
タミフル®・リレンザ®	48 時間以上	2 週間使用禁止
ラピアクタ®	5 日以上	2 週間使用禁止
ゾフルーザ®	17 日以上	2 週間使用禁止
イナビル®（日本独自）	7～10 日程度が無難	2 週間使用禁止

※ イナビル®は日本専売のため米国 ACIP ガイドラインに明記なし。

半減期の長さから 7～10 日ほどの間隔が目安。薬剤により体内残留時間が異なるため待機期間が変わる（CDC/ACIP 2024-25 年版に基づく）。



接種前の準備

直近で抗インフル薬を使用していた場合は、上表の間隔をあけてから接種してください。

例：昨日までタミフル®を服用 → 48 時間以上あけて予約



接種後の管理

接種後 2 週間は免疫づくりの仕上げ期間です。
この期間は抗インフルエンザ薬の使用を避け
発熱時はまず受診・電話相談をしましょう。

よくある質問と対処法

- Q1. 接種後に抗インフルエンザ薬が必要と言われたら？

お子さんの安全が第一です。治療が必要なら治療を優先しますが、ワクチンの効果が弱まる可能性があります。不活化ワクチン再接種をするかそのまま経過観察か相談して決めます。
- Q2. すでに抗インフルエンザ薬を使っていました

上表の「接種前に必要な間隔」を目安に、日数が過ぎてから予約してください。迷ったら医療機関にご相談を。
- Q3. 家族が薬を使用中でも接種可能？

ご家族の内服は基本的に問題ありません。お子さん本人が使用していないことが大切です。不安な場合は事前にご相談ください。



フルミストは痛みが少なく優れたワクチンですが、生ワクチンのため特性の理解が必要です。お薬のタイミングは慎重に。困った時は医師までご相談ください。

まとめ

インフルエンザの流行シーズンを前に、ワクチン接種はご自身と大切なご家族を感染症から守るための最も有効な手段です。特に、小さなお子様や基礎疾患をお持ちの方にとって、重症化を防ぐ上で非常に重要となります。

ワクチンは完璧な盾ではありません。

**それでもあなた自身の重い症状を防ぎ、やがて誰かの親を、誰かの子どもを
その人の「生きる」を守るかもしれない。**

医学とは、確実ではない選択肢の中で、確実に誰かを守ろうとする科学です。

だからこそ、私たちは完璧でなくても今できる最善を患者さんにお勧めします。



小児のインフルエンザによる死亡の多くはワクチン未接種児に集中しており、米国 CDC のデータでは直近シーズンで約 85% を占めています。また麻疹のように感染力の強い病気では、接種率のわずかな低下が流行の引き金になることが知られています。



皆様の健康を守るために

接種に関するご質問や予約について、遠慮なくお問い合わせください、スタッフ一同、全力でサポートしてまいります。皆様が健やかに冬を過ごせますように、心よりお手伝いいたします。